

東急車輛製造株式会社 殿

第 号
平成 年 月 日

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

主要諸元比較表 (改造、試作組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社			種別用途		普通貨物	
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準	
車両重量 kg		13950	—	車名		東急	—	
乗車定員人		—	—	型式		TR301-105	—	
最大積重量 kg		28500	—	形状		セミトレーラ	—	
車両総重量 kg		42450	≦ 20 t	原動機の型式		—	—	
			()	総排気量 l		—	—	
長さ m		11990	≦ 12	燃料の種類		第5輪から	—	
幅 m		2990	≦ 2.5	軸距 m		0.950+1.300 =10.250	—	
高さ m		2350	≦ 3.8	最小回転半径 m		* 11.6	≦ 12	
室内又は 両側の寸法	長さ	5700	—	オーバハング ボデー後端まで		0.970	≦ ④ 軸子L ₀ (5.125)	
	幅	2990	—					
空車時 荷重分布	前	3870	—	タイヤ サイズ	前	—	—	
	後	5040	—		後	12.00-20-16PR 12.00-20-16PR	—	—
積載時 荷重分布	前	16635	≦ 10 t	積載時 タイヤ 荷重割合 %	前	—	—	
	後	12910	≦ 10 t		後	97.2	≦ 100	—
積載時 荷重割合 %	前	—	≧ 18	最大安定 傾斜角度 °	左	*	—	
	後	—	≧ 20		右	50	一般 ≧ 35 (30)	—
軸距 m	前	—	—	車わく強度		$\frac{5000}{3200} \times \frac{805 \times 2.5}{405 \times 2.5} = 2.4 > 1.6$	—	
	後	1940	—		車軸強度		東急 TL 2555 型トレーラと同	—
能力強度等検討	制動能力	踏力 — kg 35 km/h 9.2 m 空気圧 7 kg/cm ²		操縦装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	—	
	推進軸	回転数	Nc/N= / =	懸架装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	—	
	強度	σ _B /T= / =		制動装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	—	
				連結装置		東急 TL 2555 型トレーラと同	—	

注1. 主要諸元比較表右欄()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。
注2. 能力強度等検討時に必要としないものは、省略したものは×を記入すること。
注. ※印は P-FY1A1JR 型トラクターと連結時の計算値を示す

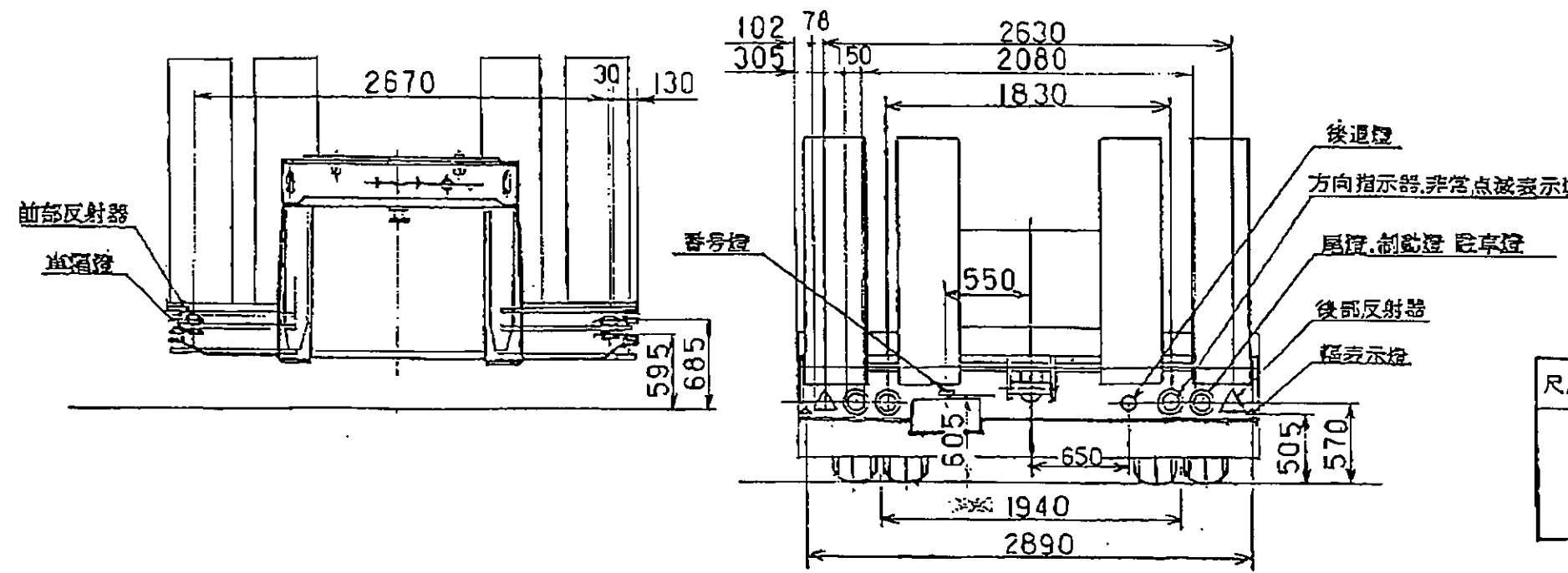
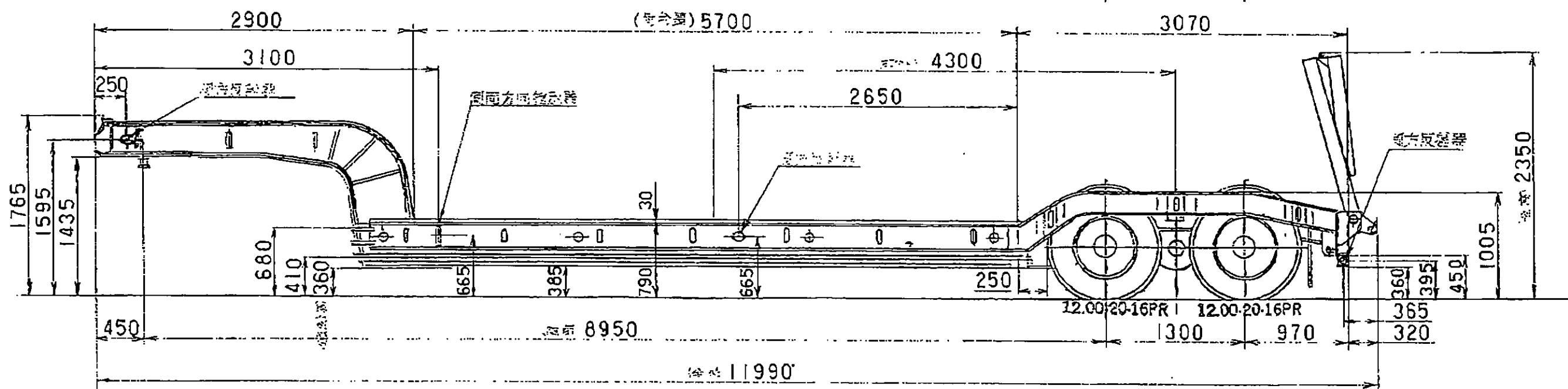
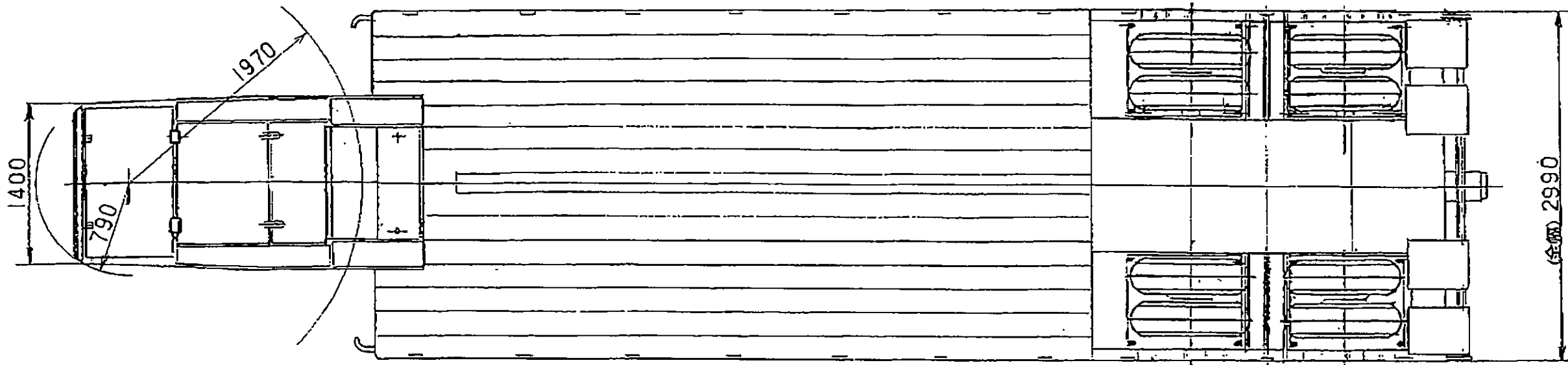
試作
改造概要説明書

目的	当該車両は分割不可能の重量物の安全輸送を計る為に新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 8950 + 1300 = 10250 mm とした
輪距	1940 mm とした
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車第 10999 号) と同一のものを使用している。
操縦装置	
制動装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車第 10999 号) と同一のものを使用している。 トラクタとトレーラが分離した時制動にかかる非常中継弁を取付けている。 ブレーキ配管内の水及びゴミの蓄積防止の為エアフィルターを設ける。
懸架装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車第 10999 号) と同一のものを使用している。 ウオーキングビームにより前後に揺動する
連結装置	東急 TL 2555 型セミトレーラ (55 自車第 743 号新型自動車第 10999 号) と同一のものを使用している。 JIS-D-6602 に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	

(A列3番)

(社団法人 日本自動車部品工業会)

23-08-04; 16:49 ; # 2 / 5



調査	...	承認	...
製図	...	担当	...

尺度	1/40	重量		東急車輛製造株式会社
TD301-105型				D5202-9938

13743